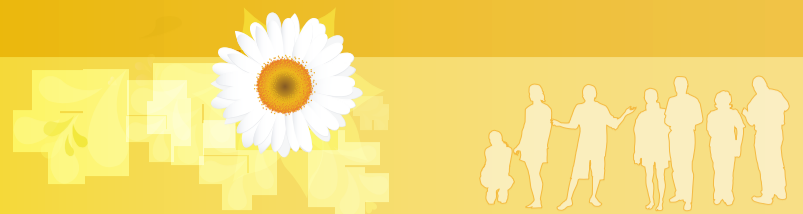


平成27年第3回定例区議会

# 代表質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

## ちよだの声

小枝 すみ子

### 文化学習団体の育成について

**問** 区の育成予算や職員支援等が減少したため、団体が減少傾向にある。区の積極的なサポートが急がれる。

**答** 自主・自発的に提案された文化事業に対する助成制度を設け、「文化芸術の秋フェスティバル」で場を提供すると共に実行委員会では区職員も一体となり活動支援に取り組んでいる。

### 参画協働ガイドラインについて

**問** ①ガイドライン作成時は、区民と議論し参画側の視点が必要。見解は。

②～④の計画の参画と協働の考えは②万世橋出張所建て替え③お茶の水小学校建て替え④旧千代田保健所移転。

**答** ①同意見。参画側との対話が重要②近隣地権者を含む協議会の議論を踏まえ構想案を作成③整備内容が未定、説明会等を実施④周辺地域とまちづくり等の意見交換会で情報提供。

### 子どもオンブズパーソン

**問** 学校・区教委が当事者となる等学校組織で解決できないケースに対応しうる救済機関が必要。公正中立なオンブズパーソンの設置を求める。

**答** 警察や児童相談所等の外部機関からなる協議会の設置等、事件予防・発見、解決に向け外部の人材を含む多角的体制を整えている。オンブズパーソンの設置は課題とし検証する。



## 公明党議員団

大串 ひろやす

### クラウドファンディングについて

**問** クラウドファンディングを自治体が行った場合の特徴と有効性は、財政的な効果を始め、連帯感が生まれる、参画・協働へのきっかけとなる、行政への依存から自立へのシフトを可能にする等が考えられる。まさにクラウドファンディングの大いなる可能性といってもよいものだ。①区長の所見は②区の事業でクラウドファンディングへ移行できるものは。

**答** ①行政に依存することなく、区民等が主体となる取り組みの発展が期待できる。既存事業との比較等、政策的に調査研究をしていく②寄付金事業や助成事業での活用が想定できる。

### 幸福度調査の意義と有効性

**問** 幸福度調査の意義と有効性は、国民の幸福や真の豊かさを測る指標となること、幸福や尊厳について考える機会となること、行政としては幸福や尊厳という視点から政策立案が可能となること、また単なるニーズ調査とは異なること等が考えられる。①区は幸福度調査の意義と有効性をどう認識しているのか②千代田区版幸福度調査の実施を提案する。所見は。

**答** ①真の豊かさを指標化するものとして意義のある取り組みである②千代田区版の幸福度調査の実施は中長期的に調査研究していく。



コミュニティと幸福度 (荒川区の調査より)

